

名張市社会福祉協議会  
**地域福祉活動の報告**

名張市社会福祉協議会  
2025年12月02日



# AGENDA

---

1. 第5次地域福祉活動（計画）における社協が実践する取組一覧
2. 活動者同士を“つなげる”地域福祉活動
3. 次世代に“つなげる”・多世代が“つながる”地域福祉活動
4. 公益的な活動を“ささえる”地域福祉活動
5. 生きづらさを抱える人を “ささえ、その人らしく生きるにつなげる” 地域福祉活動
6. これからの取組み課題

## 報告の視点

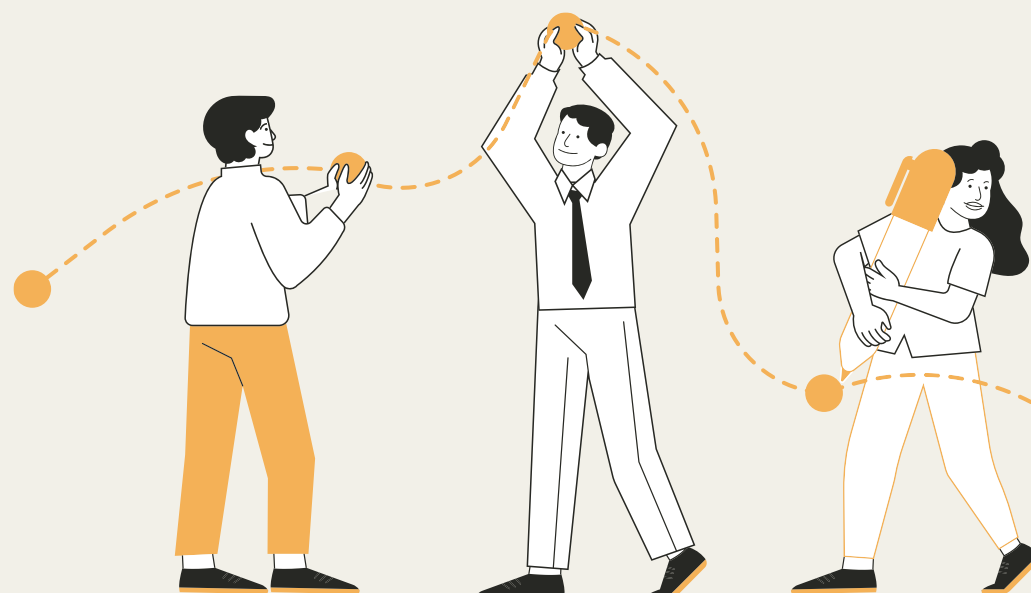
「つなぐ（つなげる）」を一つコンセプトに  
令和7年度前期の実践と推進課題について報告します。



今後の地域福祉活動の推進に向けて  
少しでも多くの市民の方が、地域福祉活動の当事者として  
いっしょに一つ一つの実践を積み重ねていく作業に  
“参加（つながっていく）する”  
“一員（つながっている）である”  
ことに気づける地域福祉実践をこころがけました。

# 1. 第5次地域福祉活動（計画）における社協が実践する取組一覧

---



多岐にわたる取組を体系的に整理し、目的をもって取り組む

# 第5次地域福祉活動（計画）における社協が実践する取組一覧

## 【基本目標】

## 【推進項目】

## 【計画上における社協の取組】

### 【基本目標1】

多様な主体の  
参画と協働  
ネットワーク  
づくり

- 1-①包括的な相談支援体制の強化
- 1-②誰ひとり取り残さない見守り支援体制の整備
- 1-③地域福祉推進の共創基盤（プラットフォーム）づくり

- なばり暮らしあんしんセンター機能の発揮
- 生活支援コーディネーターによる取組み
- 社会福祉協議会の持つコミュニティソーシャルワーク機能の発揮
- 「おひとりさま」のエンディングサポートに関する仕組みづくり
- 福祉関係団体との相互連携の機会づくり
- 社会福祉法人ネットワークによる公益的な取組の推進
- 「福祉×企業」の取組

### 【基本目標2】

「つながる」を意識  
人と組織を  
はぐくむ

- 2-①地域福祉活動の情報発信
- 2-②地域福祉を支える人材の育成・参加促進
- 2-③持続可能な地域福祉推進に向けた事業・組織の変革

- 地域福祉活動の「見える化・理解（分かる）化」
- ボランティアセンター機能の強化
- 福祉教育の推進
- 地域福祉課題の課題への取組
- 地域福祉活動を支える各種助成事業の推進と見直し
- 地域福祉活動におけるファンドレイジングの在り方の検討と取組推進

### 【基本目標3】

誰もが「安心」や  
「つながり」を実感  
場・環境づくり

- 3-①安心・安全に暮らせる環境の整備
- 3-②誰もが生きがいや役割を持てる社会参加の支援

- 救急医療情報キットの普及啓発と避難行動支援者対策への活用
- 災害ボランティアセンターの基盤整備と機能強化
- 地域ささえあい活動の継続に向けた支援
- 住まいの相談に対応できる体制の整備
- 総合福祉センターふれあい3階における「居場所」「多世代」「生きがい」づくり事業の推進
- 孤独・孤立を防ぐ居場所づくり
- 就労（社会参加）を通じた生きがいづくりの推進

### 【基本目標4】

自殺対策の推進（自殺対策計画）

### 【基本目標5】

再犯防止等の推進（再犯防止推進計画）

### 【基本目標6】

成年後見制度の利用促進  
（成年後見制度利用促進基本計画）

- なばり暮らしあんしんセンターによる総合的な権利擁護支援の推進
- 制度理解の促進と相談機能の強化
- 福祉後見人へのリレー方式を目指した生活支援員・法人後見支援員の養成

23の取組

名張市社協R7年度  
事業計画へ反映

# 地域福祉（活動）計画の「23の取組」を社協事業計画へ反映させ、計画的に実施

## 【8つの重点事業】

## 【28の推進項目】

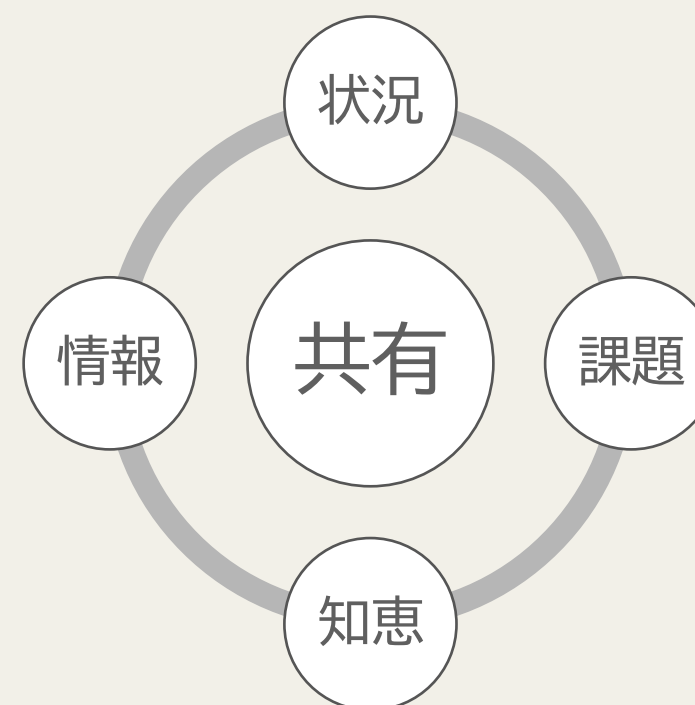
## 【取組 概要】

誰一人取り残さない  
孤独・孤立のない地域社会の実現

【8つの重点事業】	【28の推進項目】	【取組 概要】
1. 地域福祉活動推進基盤の整備 (地域福祉課共通)	1. 課運営管理体制の基盤整備	・全体事業の構造的・体系的整理による事業推進基盤の整備
	2. 専門性に基づく実践	・コミュニティソーシャルワーカー（CSW）としての専門性向上
	3. 計画的な地域福祉活動の推進	・第5次名張市地域福祉（活動）計画への参画 ・事業計画の体系整理と達成度向上
2. 暮らし応援ネットワーク事業の推進 (小地域福祉ネットワーク事業)	1. 地域生活課題の把握	・CSWによる地域づくり組織、各地区民協定例会、サロン等へのアウトリーチ（顔の見える関係づくり）
	2. 生活支援・介護予防サービスの支援	・生活支援CD等による地域支え合い活動、配食V、サロンの現状把握 ・各種担い手養成（活動基盤支援）
	3. 孤独・孤立を防ぐ居場所づくり事業の推進	・社会とのつながりが困難（苦手）な人のための座談会、相談会の実施
	4. 救急医療情報キットによる地域要支援者の把握	・普及啓発 ・登録情報の分析と災害時活用方策の検討
3. ボランティアセンター事業の推進	1. 福祉まちづくりセンター休止に伴う対応	・福祉まちづくりセンター休止による窓口機能の再編（総合福祉センターふれあいでの窓口統合）
	2. ボランティア活動を支える基盤づくり	・ボランティアコーディネーターの配置 ・ボランティア運営委員会の開催
	3. 誰もが気軽に活動できる基盤づくり	・マッチング機能の発揮 ・ボランティア活動支援 ・関係機関との連携 ・交流と啓発活動の推進
	4. 福祉の心を育む人づくりとボランティアを担う人づくり	・福祉協力校との連携による福祉教育の推進 ・ボランティア人材の育成・養成
4. 災害福祉活動基盤の整備	1. 令和6年能登半島地震への対応	・情報収集・発信 ・義援金・支援金の募集 ・職員派遣 ・ボランティア支援
	2. 災害ボランティアセンター運営体制整備	・運営委員会の開催 ・能登半島地震関連報告会、研修会の開催 ・名張市との連携 ・三重県社協等との連携
5. 地域貢献活動の推進	1. 福祉団体等の自立運営支援を協働	・事務局支援（身障互助会、老人クラブ連合会、遺族連合会、保護司会） ・障害者スポーツ大会 等
	2. 当事者等関係団体との連携・支援	・家族介護者の会「楓の会」 ・精神障がい者家族会「なばるの会」の活動支援
	3. 社会福祉法人ネットワークによる公益的な取組みの推進	・名張市社会福祉法人連絡会の運営支援及び連携・協働
	4. おもちゃ図書館の運営	・おもちゃ図書館の環境整備 ・利用促進に向けた啓発活動（おもちゃ図書館コンサートの実施）
	5. 日本赤十字社名張市地区事業の推進	・活動啓発 ・災害時対応（義援金募集、罹災者への物資支援等）
	6. その他の地域貢献	・とれたて名張交流館運営協議会への参画
6. 地域福祉活動財源確保のための 各種募金活動の推進	1. 名張市共同募金会委員会事業の推進	・赤い羽根共同募金活動の推進（10～3月） ・歳末たすけあい募金の推進（12月） ・災害時の支援金募集 等
	2. 善意銀行の適正管理	・善意銀行運営委員会の開催（適正管理） ・地域福祉活動助成金財源としての拠出 ・車いす貸出事業の実施
	3. その他の活動資金募集	・日本赤十字社活動資金募集（5月） ・名張保護司会更生保護愛の資金募集（7月）
7. 地域福祉活動助成事業の推進	1. 地域福祉活動助成事業	・配食、サロン、ひとり暮らし高齢者の集いなどの活動に対する助成 ・福祉協力校 ・当事者家族会活動
	2. 地域づくり組織活動助成事業	・地域づくり組織の行う地域福祉活動を支援するための助成
	3. 歳末たすけあい運動配分事業	・年末年始に実施される見守り活動や交流事業に対する助成
	4. 地域福祉活動支援備品貸出事業	・地域福祉活動に活用できる各種備品の貸出
8. 総合福祉センターふれあい貸館業務の 適正実施と社協窓口機能の向上	1. 総合福祉センターふれあいの貸館業務	・貸館業務の適正化 ・安全利用のための保守管理
	2. 社協窓口としての機能強化	・総合窓口としての対応力の強化と各部門との連携強化

## 2. 活動者同士を“つなげる”地域福祉活動

---





# 名張市災害ボランティアセンター交流会



活動者同士をつなげる

名張市災害ボランティアセンター事業

名張市で災害が起こった時、顔が見える関係をつくるための

## 災害 V 交流会

名張市災害ボランティアセンターには、協定を締結している団体が4団体、災害ボランティアとして登録している方が107名、登録団体が2団体いることを知っていますか？

能登半島災害から「お互いに顔が見える」「気にかけてあげる」関係づくりが最も重要であることを学び、今年度は災害関係機関、ボランティア同士が気軽に話せて顔が見える交流会を企画しました。

被災地でのボランティア経験がある方もない方も、これから何かを始めたいと思っている方も、災害ボランティアの在り方について話をしましょう。

Let's meet up!  
お気軽にご参加ください



9.21日

13:30-15:30

場所 総合福祉センターふれあい ふれあいホール

名張市丸之内79番地

- 対象
- ・名張市災害ボランティア登録ボランティア・登録団体
  - ・名張市災害ボランティアセンター運営委員
  - ・名張市災害ボランティア協定先

内容 1部「～協定団体の災害時の活動について知る～」

登壇者（協定団体）：名張商工会議所青年部、一般社団法人名張青年会議所  
名張ライオンズクラブ、名張市役所

2部「～近年の災害について思うことや考えること～ 意見交流会」

お申込み 別紙返信票に必要事項をご記入の上、FAXまたはお電話でご返送ください 9.16火

【主催】 社会福祉法人 名張市社会福祉協議会

【協力】 名張市災害ボランティアセンター運営委員会

お問い合わせ

社会福祉法人 名張市社会福祉協議会 地域福祉課

0595-63-1111 0595-64-3349 volunteer@nabarishakyo.jp

ねらい

## 顔の見える関係性づくり

- ・発災時、「あの人はどうしているだろう・・・」と気に掛ける人の存在
  - ・支援は様々な連携・協働で進められる。その時に知っている人がいること
- “いざという時の” 何よりの強みと安心につながる

## 協定団体による活動報告



### 災害ボランティア協定団体

- ・名張ライオンズクラブ
- ・青年会議所
- ・商工会議所青年部



## 交流会



- ・普段あまり知らない団体の話を聞き認識することができた。
- ・若い人が活躍していることをうれしく思う
- ・全国ネットで行動できるので大変効果も大きいと感じた。また、各団体が連携することの必要性を感じた
- ・初動について知れてよかった
- ・様々な立場の人の話が聞いて良かった
- ・いろんなボランティアの方が活動していることが分かった。「顔が見えるようになる」という目標は達成できたのでは
- ・被災地へ行くことだけでなく、地元での受入も考えていくことが必要
- ・もっと啓発し、顔の見える関係が広がっていくことが 大事

参加者数：43名

《内容》

第1部

協定団体の災害時の対応について知る

- ・各協定団体が、「能登地震」の際にどのような活動を発表

第2部

交流会

「近年の災害について思うことや考える事」

ねらい

## 顔の見える関係性づくり

災害VCは相互連携に基づき運営が成立

平時より災害時を想定した実務的連携を深め、実効性ある災害ボランティアセンター運営の基盤整備

【災害ボランティアセンター×日本赤十字社】

## 三重県社協災害時広域連携協議会 津・伊賀ブロック研修会

日時：11月4日（火）22名

内容：日赤の活動内容を知る、炊き出し訓練

ブロック連携の在り方についての意見交換



## ブロック会議 年4回実施

○津・伊賀ブロックの活動内容協議

○県のマニュアルについて協議

○研修会について協議

○各社協の情報共有

○各災害VCの訓練への参加



津市社協→日程：8月2日 場所：津市芸濃総合支所  
伊賀市社協→日程：3月20日（予定）



### 3. 次世代に“つなげる”・多世代を“つなげる”地域福祉活動

---

# 多世代をつなぐ（総合福祉センター3F生きがい交流スペースの活用）

福祉教育の推進

市内小中学校等との連携  
(福祉協力校の指定)

小学校	14校/14校
中学校	5校/5校
特別支援学校	1校/1校
高専	1校/1校

福祉協力校連絡会の開催

福祉教育プログラム  
(福祉体験学習・福祉出前講座)

- ・高齢者疑似体験
- ・視覚障がい者体験
- ・車いす体験
- ・ユニバーサルデザイン紹介
- ・ボランティアについて
- ・福祉について
- ・ふれあいの施設見学 等
- ・パラスポーツ体験（ボッチャ）
- ・当事者講話



地域の方へ名張のグルメインタビュー



高齢者疑似体験



パラスポーツ（ボッチャ）体験



施設見学



アイマスク体験



車椅子スロープ体験



体験のまとめ

名張市社会福祉法人連絡会  
との協働

- ・中高生・夏休み福祉の職場体験
- ・大人の学び直し・福祉の職場体験



利用者との関わり



園児との関わり



## ●福祉体験学習・出前講座

[小学校4校（251名）・中学校3校（371名）]

《生徒の声》

- ・困っている人に声をかけていきたい
- ・車いすの使い方や介助方法を知ることができてよかった
- ・車椅子でボッチャのボールを投げるのは難しかった
- ・見守るということも大事であるとわかった

《先生の声》

「誰もがお互いに助け合うことで過ごしやすく優しい社会に出来ることを願っています。そんな社会にしよう」という言葉は私達子供に携わる者も肝に銘じ実践しなければと思わせていただいた

## ●福祉の職場体験[協力施設13か所、参加者41名]

<生徒の声>

- ・いろんな方とかかわることができてよかった
- ・とても楽しかった
- ・実際の環境を見ることができてよかった
- ・福祉の仕事につきたいと思った

<受入施設の声>

- ・事業者側にとってもいい機会となった
- ・地域の方が福祉にかかわるとてもいい企画だと思った
- ・体験者の方はとても積極的に体験してくれた

# 多世代をつなぐ（総合福祉センター3F生きがい交流スペースの活用）

## ●おもちゃばこ事業（親子（未就学児・小学生）と高齢者との交流）【生きがい交流事業×おもちゃ図書館】

第1回：8月2日（子ども27名、大人31名）

第2回：9月6日（子ども9名、大人9名）

ボランティアの方の協力により、未就学児の親子が楽しみ、交流できる機会を提供しました



令和7年度  
**おもちゃ図書館**  
**おもちゃぼうし**

おもちゃ図書館では、みんなが大好きなおもちゃから珍しいおもちゃまで幅広くそろえています。広いホールで、ボールプールやトーマス等の玩具で遊ぶことができます。たくさん身体を動かして楽しみましょう♪

**おもちゃばこミニイベントのお知らせ**

日時：8月2日(土)10:00~12:00  
会場：総合福祉センターふれあい 3F 生きがい交流スペース 健康指導室

内容：10:00~ おもちゃ図書館の紹介  
10:30~ 大型ペープサート(紙芝居)&劇  
ボランティアグループ『ぼっぼ』  
好きなおもちゃを見つけて遊ぼう

対象：名張市在住の子ども(就学前幼児~小学生) ※保護者同伴

締切：7月29日(火)  
参加費：無料 ミニプレゼントもあるよ!

QRコード、または電話でお申込みください

【問合せ先】  
社会福祉法人 名張市社会福祉協議会(地域福祉課) TEL:63-1111



## ●ミニ夏祭り 【生きがい交流事業×ボランティアセンター】

8月20日

- ・ギター演奏、盆踊り、ゲームを、高齢者の方と一緒に祭り体験
- ・未就学児から小学生を中心に約130名で楽しい時間を過ごしました



**祭**  
**みんなで踊って**  
**あそぼう~ミニ夏祭り~**

子どもからおじいちゃんおばあちゃんまで、みんなでいっしょに夏を楽しむごそうぞう

第1部会場：大広間  
第2部会場：健康指導室

13:10~  
ギター演奏  
ミニライブ

13:30~  
みんなで  
盆踊り体験!!

14:00~  
おかし釣り  
コーナー

14:00~  
わなげ  
ストラックアウト  
にチャレンジ!!

2025.8/20 水 13:00~15:00  
場所：名張市総合福祉センターふれあい3階 (生きがい交流スペース)  
参加費：無料  
問い合わせ先：名張市社会福祉協議会 生きがい通所支援事業所  
0595-63-7397 多世代交流事業



## 4. 公益的な活動を“ささえる”地域福祉活動

---

# さまざまななかたちでの“活動支援”（もう一つの地域福祉実践）

## 【事務局支援】

老人クラブ  
連合会

身体障害者  
互助会

保護司会

遺族連合会

法人連絡会

## 【活動支援】

家族介護者の会  
楓の会

精神障がい者家族会  
なばるの会

## 【実行委員会支援】

障がい者  
スポーツ大会

ふれあい  
フェスティバル

## 【運営委員会】

ボランティア  
センター

災害ボランティア  
センター

善意銀行

## 【運営協力】

共同募金運動

日本赤十字社

# 実行委員会×社会福祉協議会

## ●ふれあいフェスティバル

**ふれあいフェスティバル**  
2025 **10月19日** 10:00~15:00  
会場：名張市総合福祉センターふれあい（名張市社会福祉協議会）  
入場無料

ステージ  
マルシェ  
パネル展示  
ハンドメイド  
スタンプラリー

クイズに答えてプレゼントをもらっちゃおう♪  
Q. ボランティアの語源は？  
正しい答えに○をつけてね！  
A. ラテン語 B. 日本語  
C. フランス語 D. 英語  
限定 200個  
答えを書いたら、このチラシを会場まで持ってきてね  
年齢（チェックを入れてください）  
□ 10代 □ 40代 □ 70代以上  
□ 20代 □ 50代  
□ 30代 □ 60代



市民の方がボランティア活動を知ってもらうためのきっかけづくりとボランティア活動者同士の交流を目的として実施

- ・来場者 500名
- ・参画団体数 57団体

### 委員構成（6）

- ・名張市ボランティア連絡協議会（要約筆記サークル カワン）
- ・地域ささえあい活動連絡会（川西・梅が丘地域づくり協議会福祉部会 “ちょい・すけ”）
- ・配食ボランティアグループ連絡会（配食VGひだまり）
- ・子育てサロン（青蓮寺・百合が丘地域づくり協議会 親子サロン）
- ・高齢者サロン（よってだ〜こ8号店）（サロン うりぼう）
- ・第5種組織構成会員（配食、サロン除く）（ホワイトステッキ）

名張市配食ボランティア活動  
調理の経験がなくてもできる。ボランティア活動を通じて、地域貢献や健康増進を目的として実施する。参加費は無料。お問い合わせ先：名張市配食ボランティア活動推進委員会（TEL: 0571-1111）



## ●第21回名張市障害者スポーツ大会

第21回  
なばりしょうがいしゃ たいかい  
**名張市障害者スポーツ大会**

とき 令和7年11月7日（金）  
午後1時30分～3時15分

ところ ベルウィングアリーナ（名張市総合体育館）

主催 名張市障害者スポーツ大会実行委員会  
共催 名張市  
協賛 名張ライオンズクラブ、名張近鉄ガス株式会社、生活協同組合コープみえ  
協力 名張ライオンズクラブ、名張市スポーツレクリエーション協会、名張市スポーツ推進委員協議会、名張育成会後援会 虹の会、名張市赤十字連帯会、ホワイトステッキ、名張点訳グループ「あかり」、名張市立柏梗が丘東小学校、名張市社会福祉協議会（事務局）

障害のある方がスポーツ・レクリエーションを通じ、健康増進や、障害や年齢に関係なく仲間と気軽に交流を図ることを目的として実施

- ・来場者 約150名（付添、職員を含む）
- ・ボランティア含む総数 約280名
- ・参画団体数 15団体



### 委員構成（16）

- ・名張市身体障害者互助会
- ・特定非営利活動法人 名張市手をつなぐ育成会
- ・名張市精神障害者家族会なばるの会
- ・社会福祉法人 名張育成会
- ・身体障害者支援施設 はなの里
- ・青蓮寺オーラック
- ・サンフラワー名張ファクトリー
- ・Koboreもんぐらす
- ・複合福祉施設てらだふお〜ゆ〜
- ・名張市民生委員児童委員協議会連合会
- ・名張市身体障害者互助会
- ・特定非営利活動法人 名張市手をつなぐ育成会
- ・名張市精神障害者家族会なばるの会
- ・名張市教育委員会 事務局 市民スポーツ室
- ・名張市障害福祉室
- ・名張市社会福祉協議会

# 社会福祉法人連絡会 × 社会福祉協議会

**新しい自分を発見しよう**

みなさんの興味ある「福祉の仕事」一度体験してみませんか？お友だちと一緒に、また親子での参加もOKです♡

**同時開催**

『中高生・夏休み福祉の職場体験』  
『大人の学び直し・福祉の職場体験』

福祉の職場ってどんな感じなんだろう 福祉の仕事って大変なのかな？

自分にできるかな・・・と悩んでいるあなた  
※ 一回やってみませんか! ? ※

**対象**：中学校・高等学校に在籍する生徒 名張在住の方

**実施期間**：令和7年8月1日～29日 (8/12～15日を除く、平日のみ)

**参加費**：無料  
※施設までの交通費・昼食代は自己負担いただきます  
※ボランティア保険に加入します(参加者負担なし)

体験×ニュー、お申し込みについてはこちらからどうぞ



名張市社会福祉法人連絡会 × 社会福祉法人 名張市社会福祉協議会

**参加無料**

あなたの一歩が地域の誰かの安心につながる

福祉の現場から広げる地域の輪

## つながりワーカー

養成研修

つながりワーカーってなに？

地域には、困っていても声を上げられない人や支援の存在を知らないまま孤立してしまう人がいます。そんな見えないSOSを見つけ、必要な支援や人に つなぐ役割を担うのが「つながりワーカー」です。

9/29月 13:30～15:30

**場所** ▶ 名張市子どもセンター2階 大研修室  
**対象** ▶ 名張市内の福祉施設、事業所で働いている方  
この研修会は共同募金の助成金で実施しています

今回の研修では、日常業務や地域とのかかわりの中で活かせる「気づく力」と「つなぐ力」を磨きます。  
福祉の現場から地域全体を支えるネットワークづくりを一緒に考えましょう

**研修内容**

1部 講義 「困っている人に届く支援とは？」  
～地域課題の発見と関わり方～

2部 グループワーク 「つながりが支援をかえる」  
～福祉職が担う地域ネットワークづくり～

**申込み** QRコードを読み取り必要事項を入力してお申込みください

**主催** 名張市社会福祉法人連絡会

**お問い合わせ(事務局)**  
社会福祉法人 名張市社会福祉協議会 地域福祉課・地域福祉係 (の場・山口)  
☎(0595) 63-1111 🌐 <https://nabarifukushihoujin.jp/>

知ろうとすることが大切な1歩になる

みんなで考える

## ひきこもりのこと

現状と支援のかたちについて

名張市社会福祉法人連絡会 × 社会福祉法人 名張市社会福祉協議会

ひきこもりは、誰にでも起こりうる身近な課題です。私たちの家族や近所の人、地域の中にもひきこもりの状態にある方がいるかもしれません。この研修会では

- ・ひきこもりとはどんな状態か
- ・どうしてひきこもりになるのか
- ・地域や家族にできること

について学びます。

**開催日** 2025.10.25 (土)

**時間** 11:15～12:15 (名張市社会福祉大会第2部)

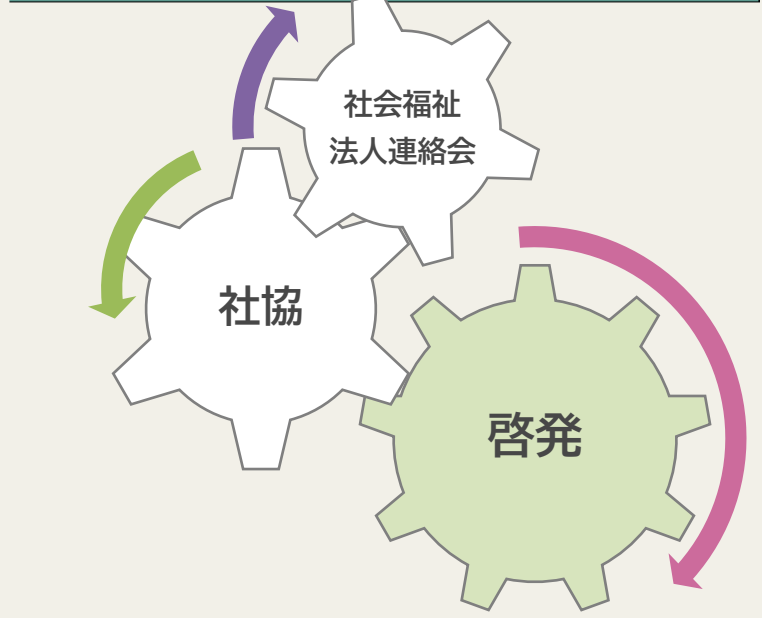
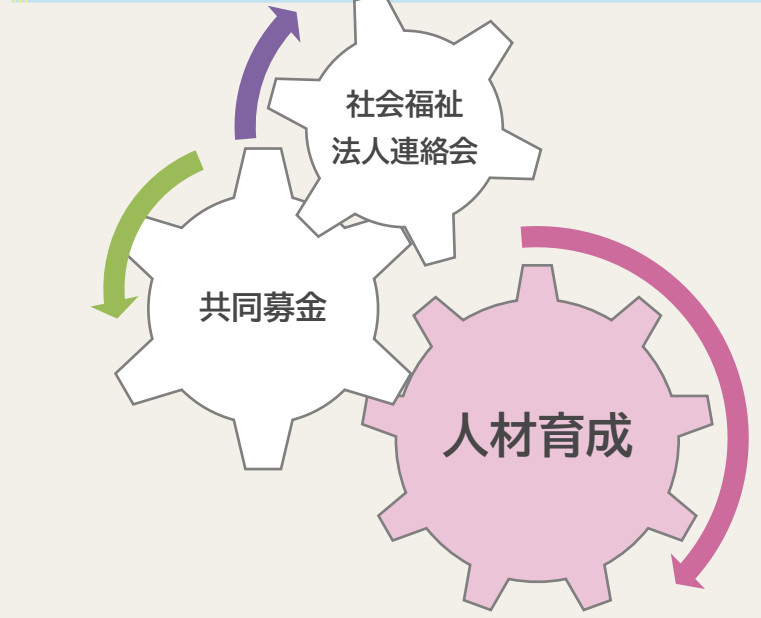
**場所** 名張市総合福祉センターふれあい ふれあいホール

**対象** ひきこもりに関する支援をしている方、関心のある方

**内容** 「ひきこもりについて知る」～理解から始める寄り添いの一歩～  
講師/川原賀也 氏  
同朋大学 社会福祉学部 社会福祉学科 准教授

**申込み** QRコードを読み取り必要事項を記入してお申込みください

**お問合せ先**  
社会福祉法人 名張市社会福祉協議会 地域福祉課 地域福祉係 名張市丸之内79番地  
☎(0595) 63-1111 ☎(0595) 64-3349

- ・体験者：中学生10名、高校生15名 一般1名 (計26名)
- ・体験延数：41名
- ・協力施設：13施設

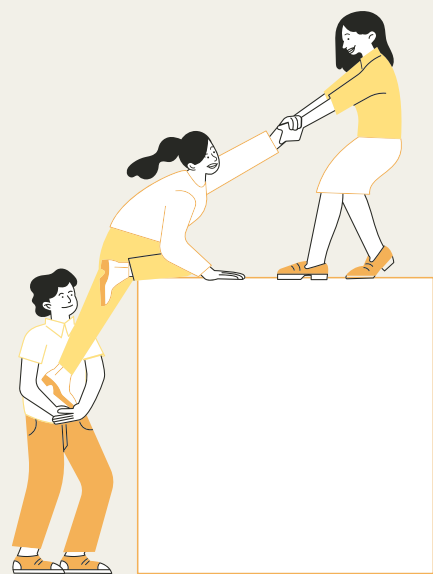
- ・受講者：高齢、障害、児童各分野の従事者、まちの保健室
- ・40名

- ・社会福祉大会の第2部「市民講演会」として実施
- ・約100名

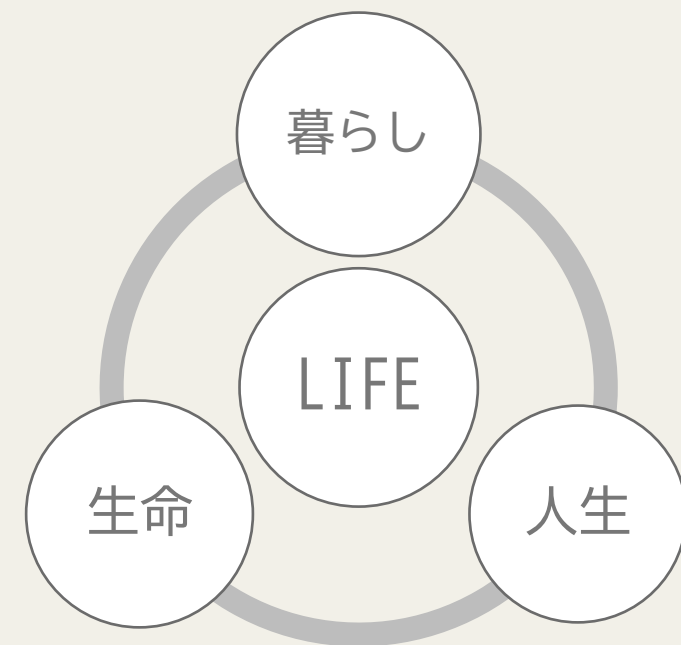
## 5. 生きづらさを抱える人を “ささえ、その人らしく生きるにつなげる” 地域福祉活動

---

(なばり暮らしあんしんセンター事業)



誰ひとり取り残さない取組み



# なばり暮らしあんしんセンターの事業構造

## 【なばり暮らしあんしんセンターの事業構成】

## 【対象者・社会的ニーズ】

1. 福祉サービス利用援助事業

日常生活自立支援事業

- 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方
  - ・自身に必要な福祉サービスの適切な利用のために必要な一連の援助、日常的金銭管理や通帳等書類預かり



2. 成年後見事業

法人後見事業

- 判断能力が不十分な方
  - ・財産と権利をまもる支援
- 低所得で身寄りのない方
  - ・転居・入所・入院時の保証人等の不在、死後事務を任せる人の不在にかわるもの



一つの制度や機関だけでは支えきれないニーズへの対応

社協による総合相談

3. 生活困窮者自立支援事業等

- 自立相談支援事業
- 住居確保給付金
- 就労準備支援事業
- 家計改善支援事業
- 被保護者就労準備支援事業
- その他関連事業

- 高齢者の年金のみでの生活苦
- 現役引退後の孤独・孤立からの生活苦
- 引きこもり状態にある方
  - ・社会との『ゆるやかな』つながり支援
- 8050世帯
  - ・親世帯がなくなる前の就労開始と定着支援
- 多重債務者
  - ・解決に向けての意欲喚起と寄り添い支援
- さまざまな背景からの求職活動困難・就労定着困難
  - ・寄り添い継続支援
  - ・協力企業の開拓と連携
- 住まいの確保が困難な方
  - ・不動産関連事業者との連携



4. 生活福祉資金等貸付事業

- 地域福祉金庫貸付事業
- 生活福祉資金貸付事業

- 低所得、障がい者または高齢者
  - ・経済的自立及び生活意欲の助長促進
- 経済的な問題での進学に不安がある方
  - ・貧困の連鎖防止

なばり暮らしあんしんセンター事業

# 多様な制度を活用した相談支援

事業名		新規相談件数	新規契約件数	契約者数	延支援回数	
福祉サービス利用援助事業	日常生活自立支援事業	20件	2件	68名	2,804回	
成年後見事業	法人後見事業（受任案件）			（受任件数）8件	725回	
		問合せ件数	新規相談件数	調整支援回数		
	成年後見制度（一般相談）	0件	5件	95回		
生活困窮者自立支援事業		新規申込者数	支援回数	就労開始件数		
	自立相談支援事業	73件	1,842回	20件		
		新規相談件数	継続相談件数	申請件数	承認件数	
	住居確保給付金相談	23件	96件	11件	11件	
		利用者数	協力事業者数	就労体験数	一般就労に向けた支援	
	就労準備支援事業	4名	3事業所	34回	4名の内、1名が就労訓練事業へ 2名が就労継続支援B型作業所へ	
		支援件数	延支援回数	支援内訳		
家計改善支援事業	16件	199回	家計管理支援：185回、債務整理支援：9回、滞納解消支援：5回			
生活困窮者自立支援事業		利用者数	協力事業者数	就労体験数		
	被保護者就労準備支援事業	4名	3事業所	41回		
生活福祉資金等貸付事業		相談件数	貸付件数	貸付金額	主な貸付内容	
	地域福祉金庫貸付事業	45件	13件	188,000円		
	生活福祉資金貸付事業	409件	10件	4,251,000円	内、5件（1,956,000円）は教育支援資金貸付を行い、低所得世帯に対して進学や就学の継続支援を実施	

- 事例
- ・離婚により住居失う
  - ・就職氷河期世代の不安定雇用  
→同じタイミングで失職



- 事例
- ・単身、身寄りなし
  - ・高齢雇用→失職
  - ・年金だけでは生活できない
  - ・頼れる近隣、親族なし
  - ・社会とのつながり喪失
  - ・判断能力の低下（不安）



制度につなぐことがゴールではなく、  
その人らしい暮らしに向けた、意思決定や自立に向けた、中長期の支援・伴走支援の始まり

なばり暮らしあんしんセンター事業

- 1. 福祉サービス利用援助事業
  - 日常生活自立支援事業 (専門員、生活支援員)
- 2. 成年後見事業
  - 法人後見事業 (専門員、法人後見支援員)
- 3. 生活困窮者自立支援事業等
  - 自立相談支援事業 (主任相談支援員、相談支援員、就労支援員、住まい相談支援員)
  - 住居確保給付金(家賃補助・転居費用補助) (相談支援員)
  - 就労準備支援事業 (就労準備支援員)
  - 家計改善支援事業 (家計改善支援員)
  - 被保護者就労準備支援事業
  - その他関連事業
- 4. 生活福祉資金等貸付事業
  - 地域福祉金庫貸付事業
  - 生活福祉資金貸付事業 (専門員)

●人材養成

- 生活支援員養成講座の開催 (10月22・29日) (14名受講→14名登録)

令和7年度「地域福祉」担い手養成研修

### 生活支援員養成講座

時代の変化に伴い、地域や生活の様式が少しずつ変わっていく中で、ちょっとした暮らしの困り事が複合的になり、福祉のニーズが多様化しています。名張市社会福祉協議会は「誰もが住み慣れたまちで安心して自分らしく暮らせる福祉のまちづくり」に向けて、地域福祉活動へ参加する活動者を増やすことを目的に「地域福祉」担い手養成研修を開催いたします。講座を通じ、障害者や高齢者に対する理解を深め、福祉の基礎知識を学ぶとともに、現在地域で活躍されている方々の経験談を聴くことで、地域福祉活動の魅力を感じていただけます。

<b>日程</b> 令和7年10月22日(水) 9:30-12:00 令和7年10月29日(水) 9:30-13:00	<b>場所</b> 総合福祉センター ふれあい	<b>対象者</b> 地域福祉活動に興味のある原則名張市在住の活動者の方
<b>定員</b> 20名 (先着順)	<b>参加費</b> 無料	<b>申込方法</b> 申込用紙に必要事項を記入し、持参又はFAX等で当会へお申し込みください
<b>申込期間</b> 令和7年10月6日(月) 10:00から 令和7年10月17日(金) 17:00まで		

生活支援員とは？  
生活支援員として一緒に活動してみませんか？  
生活支援員とは？  
社協が行う「日常生活自立支援事業」の支援員として、認知症や知的・精神に障がいがあり、判断能力が十分ではなく、地域で生活することに不安がある方に対して、地域で安心して暮らせるようご自宅等を訪問して支援する活動です。

お問い合わせ  
社会福祉法人  
名張市社会福祉協議会  
なばり暮らしあんしんセンター  
Tel:0595-64-1526  
(平日 8:30-17:15)



●生活相談会への参画

## すまいの活用 & 生活にお困りの方の生活相談会

<日時・会場>  
**11月8日(土) 13時から 16時まで**  
(最終受付は 15時30分)  
名張市役所(名張市鴻之台1-1) 1階 大会議室にて

すまいの活用 QRコードで予約  
空家を相続したが どうしたらいいかわからない  
空家を売りたい・買いたい  
リフォームや解体の話を知りたい

前週好評につき、今年も開催  
特別贈品 14名より

第一部:  
「どうする?空の家」  
講師:WFO 法人名張市空家相談センター  
理事長 森 孝司 様

第二部:  
「妻と子供目線の相続対策」  
講師:司法書士法人ききょう  
司法書士 村上 真吾 様

生活相談 電話で予約

お問い合わせ先  
名張市役所 住宅室  
TEL:0595-63-7740  
名張市社会福祉協議会 なばり暮らしあんしんセンター  
TEL:0595-64-1526

事前申し込み  
すまいの活用 生活相談  
電話 0595-64-1526

※参加費無料 ※要予約  
公益社団法人三重県中核自治体協議会/公益社団法人日本不動産協会三重県本部/伊賀南部不動産業協同組合/一般社団法人三重県建設業協会伊賀支部  
名張市建設協会/三重県司法書士会/一般社団法人三重県不動産鑑定士協会/伊賀南部一般商業地産共済組合/特定非営利活動法人名張市空家相談センター  
一般社団法人三重県建築士事務所協会/三重県土地家屋調査士会/名張市社会福祉協議会



住まいの確保が難しい方(住宅確保要配慮者)への支援を目的に、三重県居住支援連絡会、名張市住宅室、居住支援団体として生活相談会を実施

今年度は、名張市住宅室主催の空家に関する相談の「すまいの活用相談会」と合同開催。三重県宅建協会や伊賀南部不動産業協同組合、三重県司法書士会他多数の参加協力団体の協力もあり多様な相談に応じることができた。

- 9世帯の相談対応

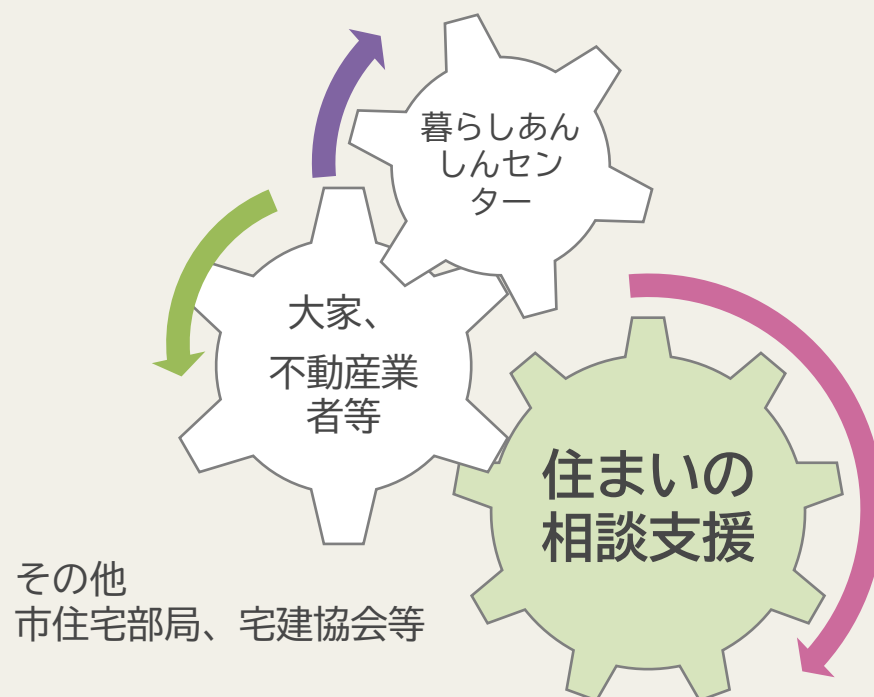
# なばり暮らしあんしんセンターにおけるコラボレーション・マッチアップ

## 就労支援



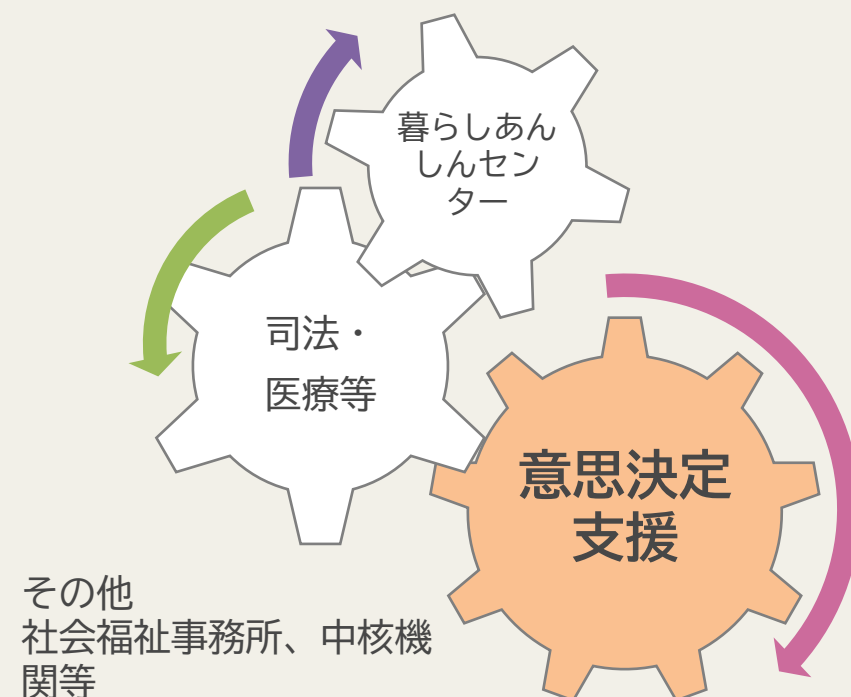
- 協力事業所の開拓
  - ・ 企業の集まるイベントへの参加
  - ・ 個別企業訪問
- マッチング
- 就職後の相談支援

## 居住支援



- 協力不動産業者、大家の開拓
- マッチング
  - ・ 相談者状況に応じた物件情報収集
  - ・ マッチング

## 権利擁護支援



- 制度利用の有無にかかわらず、多機関連携による意思決定支援

### 【取組課題】

- ・ 従来の雇用形態にとらわれない就労形態の創出

### 【取組の方向性】

- ・ 超短時間雇用等の調査、仕組みづくり
- ・ 行政、福祉、商工等との一体的取組み

### 【取組課題】

- ・ 保証会社審査の不適合、緊急連絡先不要等の住宅開拓等

### 【取組の方向性】

- 空家利用
- ・ セーフティネット住宅、シェアハウス等の開拓
- ・ 市（福祉・住宅部局）との一体的取組み

### 【取組課題】

- ・ 判断能力の問題にかかわらず、「身寄りなし問題」に関する対応

### 【取組の方向性】

- ・ 新日自への対応準備
- ・ 行政と連動した身寄りなし問題への対応準備

## 6. これからの取組み課題

---

# 「行政×社協のパートナーシップ」に基づく地域福祉推進基盤の再構築



## 第5次地域福祉（活動）計画を一体的に策定

行政計画である「名張市地域福祉（活動）計画」が令和7年度から第5期がスタートするにあたり、令和6年度に名張市福祉子ども部と名張市社協と連携して事務局を運営しました。第5次の期間中に実効性のある協働体制の整備を進めていきます。

01

### 推進基盤整備

- 行政と社協が連携した地域福祉推進

総花的実践→総合力の発揮

02

### 災害福祉

- 災害対策基本法等の一部改正

災害関連死を防ぐ

03

### 新たなニーズ

- 福祉サービス利用援助事業等の見直し

誰もが安心して最期まで暮らすための環境づくり

- 第5次地域福祉（活動）計画を一体的に策定
  - ・それぞれの役割と責任の明確化
  - ・体制や実践、資源等の検証
- 地域福祉推進課題の共有
  - ・地域福祉活動、ボランティア活動の人材
  - ・社会的孤立の拡がりや深まり
- 地域の変化を中長期視点で想定
  - ・5年10年後の変化、それにより生ずる地域福祉ニーズの予測
- 情報発信 等

- 被災者に対する福祉的支援等の充実
    - ・災害救助法の救助の種類に「福祉サービスの提供」を追加
    - ・在宅避難者等の支援ニーズへの対応
    - ・福祉関係者との連携強化
    - ・支援につなげるための被災者状況の把握
  - 災害ボランティア活動の促進
    - ・被災者救護に協力するNPO、ボランティアの登録制度の創設
    - ・市町村からの被災者情報等の提供
- ※有事と平時を切り離さない地域福祉活動

- 身寄りのない高齢者等への対応
  - ・日常生活支援
  - ・入院入所手続き支援
  - ・死後事務支援 等
- 社会との関係性の喪失
  - ・不安定雇用
  - ・ケアラー支援
  - ・不登校やひきこもり 等



ありがとうございました

名張市社会福祉協議会